



# 農業ひろさき



2024年8月1日 (第222号)  
(令和6年8月1日)

編集と発行：弘前市農業委員会  
弘前市大字上白銀町1-1 前川本館3階 電話0172-40-7104

弘前市ホームページ  
農業情報はこちらから

## 農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します！

令和7年3月31日の任期満了に伴い、新たに農業委員と農地利用最適化推進委員を募集しますので、農業に関心があり、申し込まれる方は以下をご確認のうえ応募してください。

	農 業 委 員	農 地 利 用 最 適 化 推 進 委 員
主な役割	農地の権利移動等の申請の許可、決定等の審査のための会議出席や、農地利用最適化推進委員と連携し、遊休農地解消の推進、農地集積を推進するための指針の作成。	農業委員等と連携し、農地の権利移動等申請地の現地確認、遊休農地の発生防止に向けたパトロールや所有者への働きかけ、農地集積等担当する区域内での推進活動。
対象者	農業に関する識見を有し、農業委員会の所掌する事項等に関しその職務を適切に行うことができる者。	農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有し、担当する区域内において推進活動ができる者。
応募資格	次の(ア)(イ)に該当しない者 (ア)破産手続きの開始の決定を受けて復権を得ない者 (イ)禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、又はその執行を受けることがなくなるまでの者 ※農業委員、農地利用最適化推進委員の両方に推薦・応募することはできませんが、両委員を兼務することはできません。	
募集人数	26人	53人
任 期	令和7年4月1日から令和10年3月31日	
申込方法	法人・団体推薦もしくは3人以上の連名で推薦、または応募。 応募様式に必要書類を添えて、郵送または直接下記に提出してください。	
応募様式 設置場所	応募様式は市ホームページの「農業委員及び農地利用最適化推進委員を募集」のページからダウンロードできます。 また、農政課、農業委員会事務局、岩木・相馬総合支所総務課、各出張所に備え付けてあります。	
募集期間	令和6年8月26日(月)～令和6年9月30日(月) ※郵送の場合は令和6年9月30日(月)必着	
問い合わせ・ 提出先	農政課 農地支援係 (市役所前川本館3階) 〒036-8551 弘前市大字上白銀町1-1 ☎40-0656	農業委員会事務局 総務係 (市役所前川本館3階) 〒036-8551 弘前市大字上白銀町1-1 ☎40-7104

※第5次男女共同参画基本計画(令和2年12月閣議決定)では、農業委員に占める女性割合を30%まで高めることが成果目標になっています。男性候補者と同様に女性候補者の推薦・応募もお待ちしております。

※いずれの委員も弘前市農業委員会委員選考委員会・農地利用最適化推進委員選考委員会による選考後、農業委員は市議会同意後に市長から任命され、農地利用最適化推進委員は農業委員会総会の議決後に農業委員会から委嘱されます。



募集ページ

## 農地の利用状況調査実施中！

7月1日、市農業委員会は農地利用状況調査出発式をりんご公園で行いました。出発式には、農業委員と農地利用最適化推進委員ら64人が参加し、成田繁則会長のあいさつに続いて、櫻田宏市長から激励の言葉がありました。これを受けて委員を代表し福土章逸農業委員が、「農地の適正な活用に向けて、農地利用状況調査を実施します」と出発宣言をしました。市農業委員会は8月まで市内全域において、農地利用状況の調査を行います。



農地利用状況調査出発式の様子

調査のため、農業委員・農地利用最適化推進委員などが農地内に立ち入ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ先 農業委員会農地利用促進係(市役所前川本館3階) ☎40-7104  
または農業委員、農地利用最適化推進委員まで

### 令和6年度弘前市農作業省力化・効率化対策事業費補助金 (水田スマート農業推進タイプ)

市では、水田農業における生産性の向上を図るため、スマート農業機械の導入に係る経費の一部を補助します。

◆公募期間 8月16日(金)まで

◆対象者 以下の2つの要件を満たす者

①市内農業者、市内に本店を有する農地所有適格法人、市内農業者等で組織する団体のいずれかであること。

②令和6年度産水稲生産実施計画書兼経営所得安定対策等の交付金に係る営農計画書を提出しており、土地利用型作物(水稲、大豆、麦、子実用とうもろこしのいずれか)を作付け予定であることが確認できること。

◆補助対象経費

主に水田(土地利用型作物に限定)で利用する、自動操舵システム、自動飛行ドローン、直進アシスト機能付き田植え機、水管理システム、RTK-GNSS均平システムの導入に要する経費

◆補助金の額

補助対象経費の実支出額(税抜き)の2分の1以内の額、上限100万円

◆その他

※項目(規模拡大、経営規模ほか)ごとにポイントを設定し、より多くのポイントを獲得した応募者から採択します。

※令和3年度から令和5年度の間実施された、国・県・市の補助事業や、令和6年度青森県物価高騰対応「スマート農業機械」導入促進事業において、水田で利用されるスマート農業機械の導入または採択実績のない方から優先して採択します。

※令和6年度青森県物価高騰対応「スマート農業機械」導入促進事業が採択となっている場合、当該事業で申請したスマート農業機械について本事業でも申請し、二重で補助金の交付を受けることはできません。

提出書類及び詳しい要件などについては、お問い合わせまたは市ホームページをご確認ください。

■問い合わせ・応募先 農政課農産係  
(市役所前川本館3階) ☎40-4356

市ホームページ



### 農業委員会活動目標等の公表について

市農業委員会では、優良農地の確保や遊休農地の解消、担い手への農地集積に向けた令和6年度活動目標及び令和5年度活動計画に対する点検と評価を公表しています。

下記のホームページからご覧ください。

【市ホームページ】

農業・商工業・観光 > 農業情報 > 農業委員会による最適化活動の推進等について

または右記二次元コードから

■問い合わせ先 農業委員会事務局(市役所前川本館3階)  
☎40-7104



### 『青森県農業経営・就農サポートセンター』の活用推進

県では、青森県農業経営・就農サポートセンターを設置し、農業経営の法人化、経営継承、労務管理などで農業者が抱える様々な経営課題に対して、税理士や社会保険労務士などの専門家派遣による経営支援のほか、就農希望者に対する就農相談を行っています。

◆対象者 農業経営者、就農希望者

◆専門家派遣に係る費用 無料

◆相談事例

<農業経営の相談>

○経営規模が大きくなったので法人化を検討したい。

○労働者を雇用したいので、募集方法や労務管理等について知りたい。

○農業経営上の無駄がないか知りたい。

<就農相談>

○就農したいので、支援制度について知りたい。

■問い合わせ先 中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室 ☎33-4821



### 農業者向け青色申告研修会の開催 ～はじめてみよう!自分でできる青色申告!～

◆日 程 8月23日(金)午前9時30分から午後5時

◆場 所 中央公民館岩木館 大研修室  
(賀田一丁目18-3)

◆内 容 下表のとおり

◆定 員 28名(先着順)

◆対 象 者 これから青色申告を始めることを検討している市内の農業者

◆参 加 費 無料

◆申込方法 8月20日(火)までにひろさき農業総合支援協議会事務局(弘前市農政課内)へお申し込みください。  
※定員に達した場合はお断りさせていただく場合がございます。  
※FAX、メールの場合は、氏名、電話番号を明記してください。



内 容	講 師
収入保険について	青森県農業共済組合
青色申告の概要 単式簿記について	青森県農業会議
複式簿記について 農業簿記ソフトの基本操作について	ソリマチ(株)盛岡
各社の農業簿記ソフト紹介	農政課

※内容は変更となる場合があります。

■問い合わせ・申込先 ひろさき農業総合支援協議会事務局  
(弘前市農政課地域経営係) (市役所前川本館3階)

☎40-7102 FAX32-3432

Eメール nousei@city.hirosaki.lg.jp

一人で作業をする時は家族に場所を伝えましよう!

# 令和7年度 農業用機械・施設等の導入事業に関する要望調査について

複数人での農作業や休憩で事故防止を！

農業用の機械・施設などの導入や整備について、農業者の皆様の要望を事前に調査します。来年度に農業用機械の導入などを検討されている方は、お知らせください。

- ◆調査目的 今後実施が予定される各種補助事業に迅速に対応するため、市内の農業者等の要望を、事前に把握するものです。
  - ◆調査期間 8月1日（木）～8月30日（金）
  - ◆調査事項 希望者の氏名、住所、連絡先、要望する機械・施設など
  - ◆回答方法 電話または下記担当窓口にてお知らせください。（ただし、土・日・祝日は除きます）
- ※この調査は、あくまで事前調査であり、事業の申請ではありません。具体的な補助事業の内容やスケジュールが決まり次第、あらためて詳細について伺います。  
また、今回の調査期間終了後でも、ご相談は随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。  
なお、運搬用トラックやパソコンなどの農業経営以外の用途にも活用できる汎用性の高いものの導入については、各種補助事業の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

事業名	事業概要	対象者	補助金額など
1 農作業省力化・効率化対策事業（通常タイプ）	農業経営の改善・発展を図る上で必要な、①農業機械、②農業用ハウス、③荷捌き場等の整備を支援	農業者、農地所有適格法人、農業者等が組織する団体	対象経費の1/3以内（上限額：①・②は50万円、③は23万円） ※一定の要件を満たす場合、補助率や上限額を拡充・優先枠設定
2 農作業省力化・効率化対策事業（水田スマート農業推進タイプ）	水田農業における生産性の向上を図るために必要な自動操舵システム、自動飛行ドローン等の導入を支援	水田において土地利用型作物を作付けする農業者、農地所有適格法人、農業者等が組織する団体	対象経費の1/2以内（上限額：100万円）
3 野菜・花き産地育成事業	野菜・花き生産の省力化や高品質化等に必要の機械やパイプハウス等の導入を支援	認定農業者、認定新規就農者、農地所有適格法人、農業者等が組織する団体等	対象経費の1/4以内（上限額：300万円）
4 特産果樹産地育成・ブランド確立事業	果樹産地構造改革計画において掲載されている特産果樹の栽培に必要な取組（①新植用の苗木や支柱・樹柵、②雨よけハウス等の導入）を支援	認定農業者、認定新規就農者 ※果樹産地構造改革計画で担い手として位置づけられていること	①対象経費の1/4以内 ②対象経費の1/3以内
5 りんご防除機械等導入事業	スピードスプレーヤー、貯水槽、揚水・配水用機械・器具の導入を支援	3戸以上の農業者等が組織する団体	①収入保険又は果樹共済に全員加入済みの団体：対象経費の20%以内（上限額：170万円/台） ②上記以外：対象経費の20%以内（上限額：120万円/台）
6 りんご園防風網張替事業	りんご園の防風網の張替を支援	収入保険又は果樹共済に加入済み等の農業者、農地所有適格法人	対象経費の1/3以内（上限額：18万円）
7 土地改良事業	農業生産基盤に係る次のような取組を支援 ①農道の舗装、補修等 ②用排水施設等の新設・改修等 ③ほ場整備、土層改良、暗きょ排水整備等 ※この他、国の様々な事業もあります。	土地改良区、共同施行者（当該事業を共同で行う数人の者で構成）、農業協同組合	①小規模農道整備（舗装：55%以内、補修：45%以内等） ②かんがい排水：50%以内 ③農地整備：30%以内
8 りんご樹雪害対策農道等除雪事業	りんご樹の雪害対策等に必要の農道等の除雪を支援	農業者、農地所有適格法人、農業者等が組織する団体、農業協同組合	次のいずれか少ない額の1/2 ①1km当たりの除雪単価を乗じて得た金額 ②対象経費の実支出額の合計額

※補助事業は令和6年度実施分の一部を掲載しています。また、今後変更の可能性があります。具体的な事業内容等が決まり次第、ひろさき農業メールマガジン等でお知らせします。

- 1の事業 農政課農地支援係 ☎40-0656
- 2、3の事業 農政課農産係 ☎40-0504
- 4の事業 りんご課企画推進係 ☎40-0482
- 5、6の事業 りんご課生産振興係 ☎40-7105
- 7、8の事業 農村整備課農村整備係 ☎40-2955



（メールマガジン）



（事業詳細）



## 関係行政機関への要望事項決定

市農業委員会は6月26日、りんご公園「りんごの家」で総会を開催し、関係機関への要望事項を決定しました。

### 【交信かく乱剤「コンフューザーR」の購入支援の継続に関する要望】

りんごの国内取引価格及び生産者の農業経営の安定のため、交信かく乱剤「コンフューザーR」の購入を支援する「りんごのモモシンクイガ特別防除対策事業」を継続するとともに、「コンフューザーR」の利用を一層促進すること。

### 【スマート農業の普及推進に関する要望】

土地利用型農業の省力化・効率化を一層推進するため、スマート農業を展開していけるよう、対応した基盤整備を推進するとともに、技術等普及のための情報提供及び農業機械・機器等の導入促進を図ること。

### 持続可能なりんご産業を目指す スマート農業等展示会を開催します!

りんご生産現場で活用が期待されるスマート農機や、気候変動対策・環境負荷低減技術に関する展示会を開催します! 普段なかなか体験することのできない先端技術を体験してみませんか?

- ◆日時 8月21日(水) 正午~午後3時  
※雨天決行(荒天の場合は中止)
- ◆場所 弘前市りんご公園(清水富田字寺沢125)
- ◆参加料 無料
- ◆内容 無人走行SSなどの最新技術や、気候変動対策・環境負荷低減技術に関する展示や実演を予定しています。詳細については市HP(二次元コード)をご覧ください。

#### ■問い合わせ先

りんご課企画推進係(市役所前川本館3階)  
 ☎40-0482 FAX38-5870  
 Eメール ringo@city.hirosaki.lg.jp



### ため池・用排水路などでの水難事故に注意!

農業用のため池や用排水路などは、誤って転落するなど不慮の事故につながる危険性があります。農業等の本来の目的以外では不用意に近づかず、取水や管理作業等の際には、複数人で行うなど、十分に気を付けてください。

また、施設管理者は、水難事故の未然防止を図るために安全管理の徹底をお願いします。

さらに、日頃からの呼びかけも重要ですので、ため池や用排水路などに不用意に近づいている方を見かけた場合は、注意喚起のために声がけをするなど、地域の皆様のご協力をお願いします。

#### ■問い合わせ先

農村整備課農村整備係  
 (市役所前川本館3階)  
 ☎40-2955



### 令和6年度がん検診 実施について

市が実施している胃がん内視鏡検診や子宮がん検診、乳がん検診について、受診機会を拡大し、「各年度内に偶数歳になる人」のほか、「前年度に受診しなかった人」も令和6年8月1日から受診できるようになります。前年度に受診しなかった人へ7月下旬に「受診資格者証明書」を送付しております。受診の際は医療機関にご提出ください。

#### ■問い合わせ先

健康増進課成人保健・がん対策係(弘前総合保健センター1階) ☎37-3750

検診名	対象年齢	料金
胃がんエックス線検診	40歳以上	1,500円(市国保加入者は750円)
胃がん内視鏡検診	50~69歳まで(2年に1回)	3,000円(市国保加入者は1,500円)
	70~74歳まで(2年に1回)	1,400円(市国保加入者は700円)
	75歳以上の方(2年に1回)	700円(※65~74歳の後期高齢者医療制度加入者を含む)
<b>胃がん内視鏡検診の注意事項</b> …今年度対象となる方には、令和6年4月中旬に個別通知を発送しております。対象の方は、胃がん内視鏡検診と胃がんエックス線検診を両方受けることはできませんので、胃がん内視鏡検診を希望する人は、胃がんエックス線検診を受けないようご注意ください。		
大腸がん検診	40歳以上	500円(国保加入者は250円)
肺がん検診	40~64歳まで	400円(市国保加入者は200円)
結核検診	65歳以上	無料
子宮がん検診(女性)	20歳以上(2年に1回)	700円(国保加入者は350円)
乳がん検診(女性)	40歳以上(2年に1回)	700円(国保加入者は350円)

### 今年も健診を 実施しています!

国民健康保険に加入している40歳以上の人に国保特定健診、国保人間ドック・脳ドックを、後期高齢者医療制度に加入している人には後期高齢者の健診、歯科健診を実施しています。健診の目的は、体の異常の「早期発見・早期治療」です。自覚症状がないまま進行する病気もありますので、毎年健診を受けてご自分の健康状態を確認しましょう。

健診の際は、マスクの着用や手指の消毒など、感染症予防対策にご協力くださいますようお願いいたします。

健診名	対象	料金	実施期間
国保特定健診・後期高齢者の健診	国民健康保険に加入している40歳以上の人、または後期高齢者医療制度に加入している人	無料(健診には、約1万2千円の費用がかかりますが、受診券を使用することで年度内1回に限り、無料で受診できます。)	令和7年3月15日まで
国保人間ドック	国民健康保険に加入している40歳以上の人	4,250円(年度内1回。国保特定健診が含まれ、同時受診となります。また、検診内容や年齢により自己負担額が増減することがあります。)	令和7年3月15日まで
国保脳ドック		5,000円(年度内1回。国保特定健診または国保人間ドックとは別に受診できます。)	令和7年3月31日まで
後期高齢者の歯科健診	後期高齢者医療制度に加入している人	無料(年度内1回。受診券はありませんので、被保険者証をお持ちください。)	令和7年3月31日まで

#### ■問い合わせ先

【国保特定健診、国保人間ドック・国保脳ドック】国保年金課国保健康事業係 ☎35-1116  
 【後期高齢者の健診・歯科健診】国保年金課後期高齢者医療係 ☎40-7046